

Express5800/120Mc

Express5800/120Mc

最新PentiumIII Xeon プロセッサのパワーを身近に使えるハイコストパフォーマンス・サーバ。

1.モデル構成

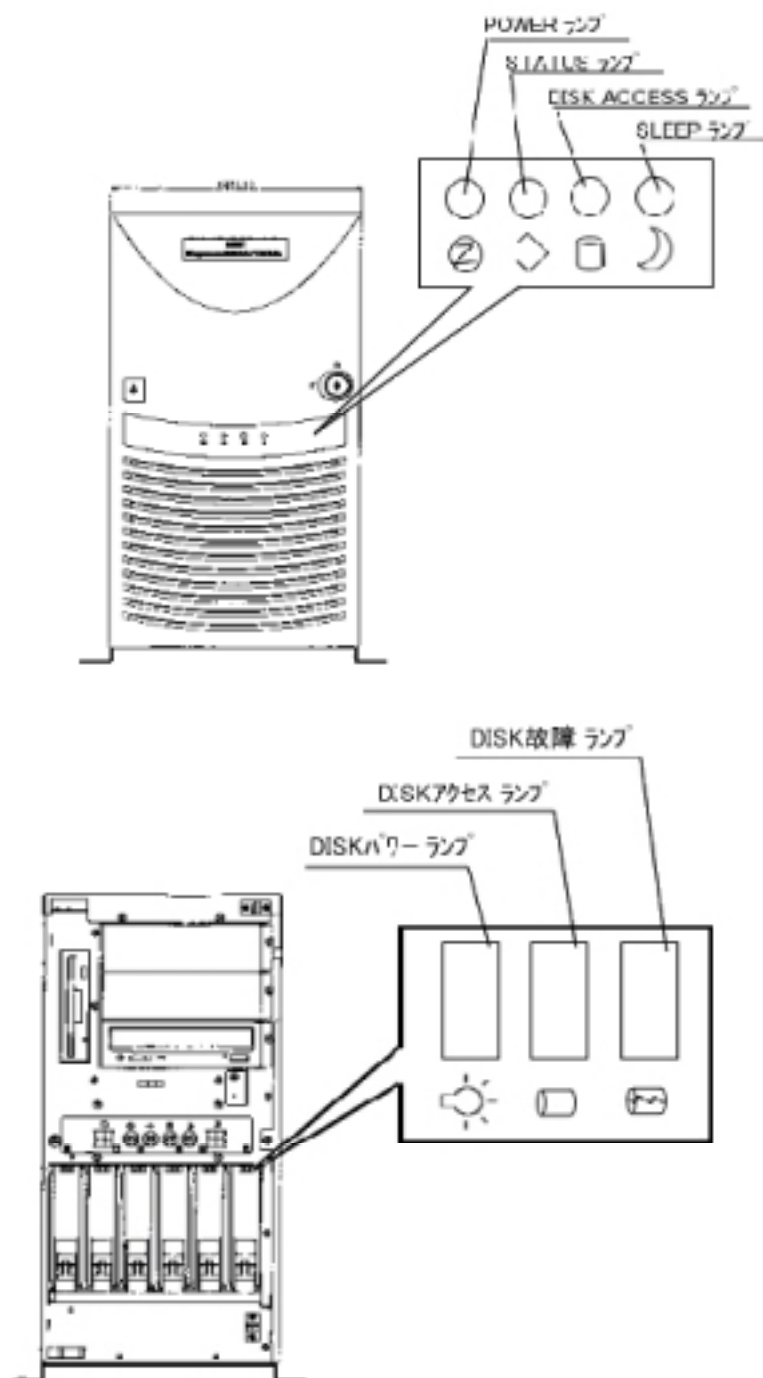
モデル名	Express5800/120Mc			
型名	N8500-436	N8500-437 N8500-438	N8500-509	N8500-443 N8500-488
製品名	Express5800/120Mc (III-X/600(256))	Express5800/120Mc (III-X /600(256)-25AWS) (III-X /600(256)-25AWE)	Express5800/120Mc (III-X/733(256))	Express5800/120Mc (III-X /733(256)-25AWS) (III-X /733(256)-25AWE)
	ディスクレス モデル	StarOffice バンドルモデル Exchange バンドルモデル	ディスクレス モデル	StarOffice バンドルモデル Exchange バンドルモデル
CPU	PentiumIII Xeon プロセッサ (600MHz) ×1 (最大 2 個)		PentiumIII Xeon プロセッサ (733MHz) ×1 (最大 2 個)	
L1 キャッシュ	64KB			
L2 キャッシュ	256KB			
メモリ	128MB (最大 4GB)			
ハードディスク	なし (内蔵最大 108.6GB)	8.6GB×3 (内蔵最大 108.6GB)	なし	8.6GB×3 (内蔵最大 108.6GB)
CD-ROMドライブ	最大 32 倍速倍速			
LAN	標準 (100BASE-TX もしくは 10BASE-T)			
グラフィックス	1280×480～1024×668			
インストール OS	なし	WindowsNT Server4.0	なし	WindowsNT Server4.0
バンドル OS	なし	StarOffice/らくらく情報共有 又は Microsoft Exchange Server5.5	なし	StarOffice/らくらく情報共有 又は Microsoft Exchange Server5.5



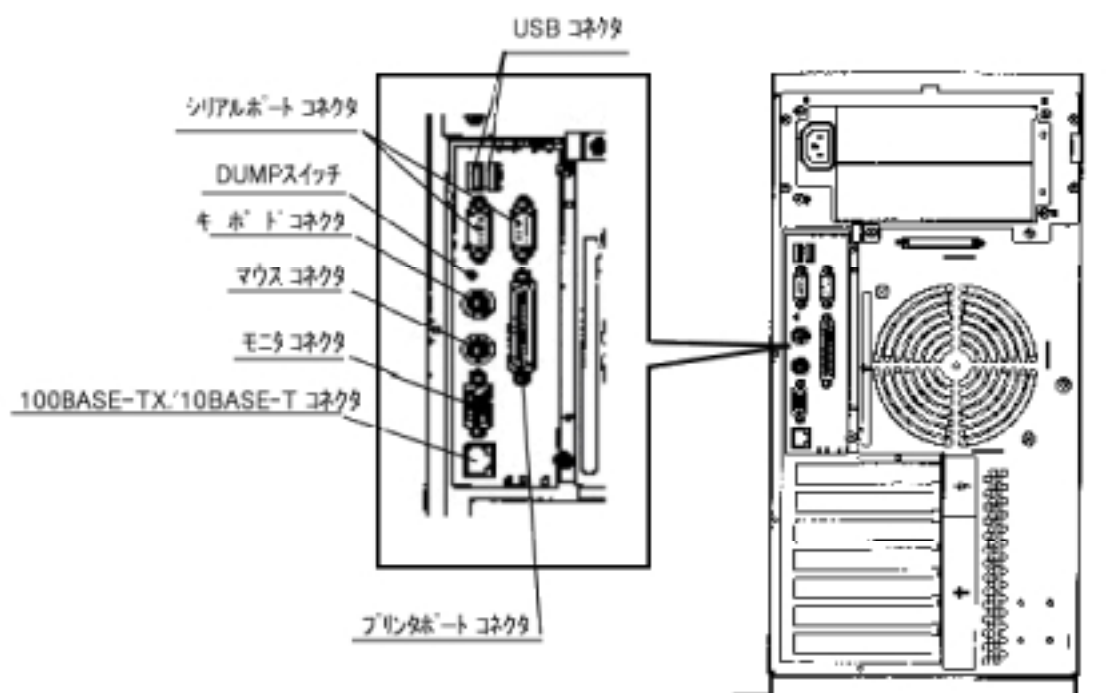
2. 外観デザイン

Express5800/120Mc

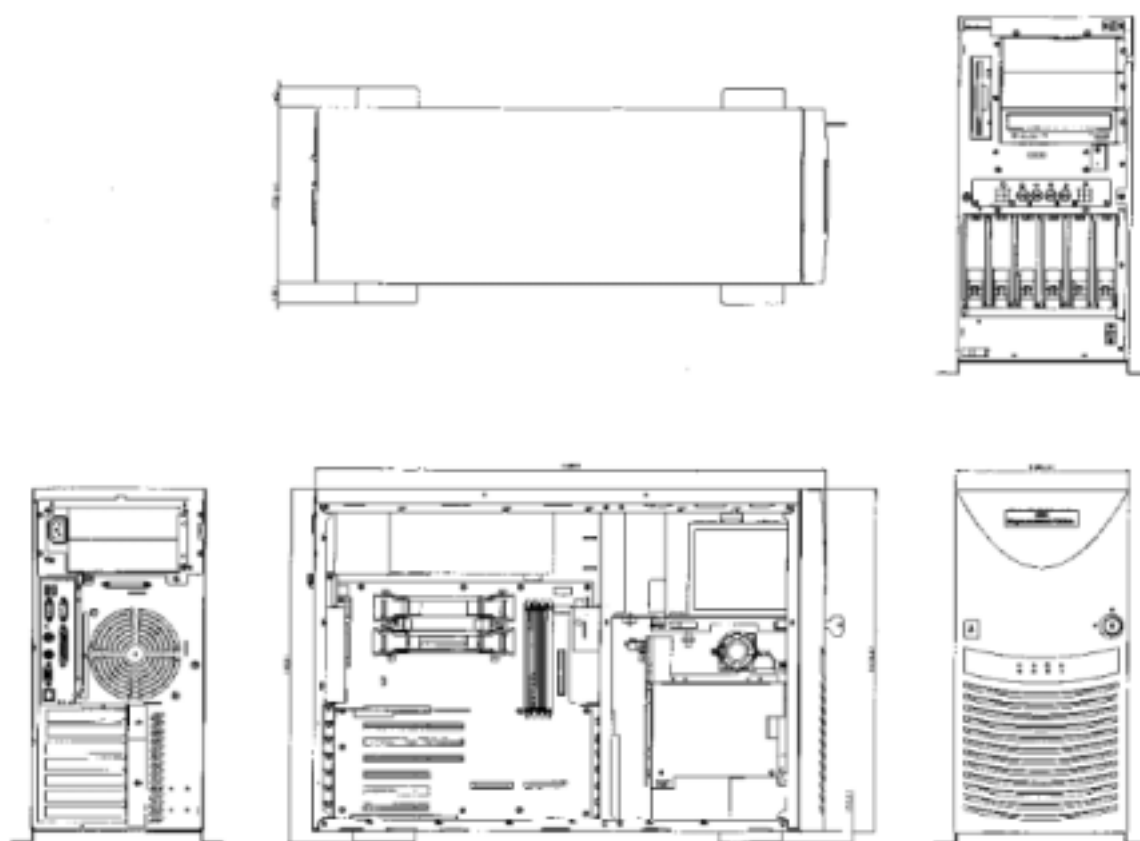
① 正面図



②背面図

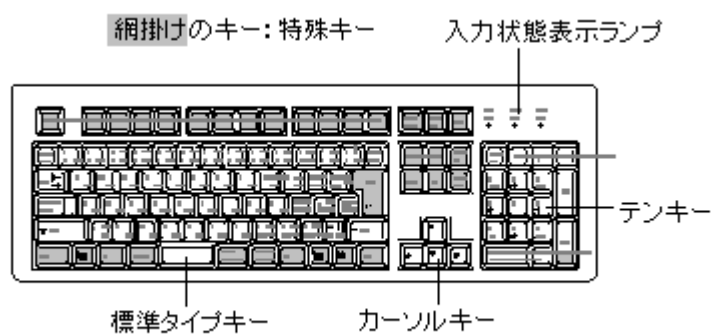


③ 三面図



外形寸法：271.4(W)×656(D)×450(H) mm

④ キーボード



外形寸法 : 454(W)×156.5(D)×40.06(H) mm (スタンド含まず)

ケーブル長 : 1500±40mm

*109 型キーボード

3.機能仕様

		Express5800/120Mc			
		N8500-436	N8500-437 N8500-438	N8500-509	N8500-443 N8500-488
		ディスクレス モデル	StarOffice バンドルモデル Exchange バンドルモデル	ディスクレス モデル	StarOffice バンドルモデル Exchange バンドルモデル
CPU	標準	PentiumIII Xeon プロセッサ (600MHz)×1		PentiumIII Xeon プロセッサ (733MHz)×1	
	最大	2			
L1 キャッシュ		64KB			
L2 キャッシュ		256KB			
チップセット		RCC 社製 Champion3.0 chipset			
メモリ	標準	128MB (DIMM×1)			
	最大	4GB (標準 DIMM 交換時)			
	増設単位	1 枚(128/128/256/256MB/512MB/1GB)			
	増設機会	3 回			
	メモリモジュール	SDRAM DIMM			
	誤り検出訂正	ECC			
グラフィックス	アクセラレータ	ATI 社製 Rage II C (ビデオ RAM 4MB)			
	解像度 表示色	640×480))) 1677 万色 800×600))) 1677 万色 1024×768))) 1677 万色			
フロッピーディスク		3.5 インチドライブ×1 3 モード対応 (620KB/1.2MB/1.44MB)			
HDD	標準	オプション	8.6GB ×3	オプション	8.6GB ×3
	内蔵最大	18GB(1")×6			
CD-ROM		トレイロード、最大 32 倍速倍速			
ディスクアレイ		オプション	標準	オプション	標準
LAN		100BASE-TX もしくは 10BASE-T×1			
SCSI		Ultra160/m SCSI ×1, UltraSCSI(Wide)×1			
ファイル ベイ	デバイスベイ 5.25 インチ	3 (CD-ROM で 1 スロット使用)			
	デバイスベイ 3.5 インチ	6 1"ハイト : 6	6 1"ハイトを 3 スロット 使用済み	6 1"ハイト : 6	6 1"ハイトを 3 スロット 使用済み
拡張スロ ット	64bitPCI	3 スロット			
	32bitPCI	3 スロット(バンドルモデル (ディスクアレイモデル) は 1 スロット使用済み)			
	PCI/ISA	1 スロット(ISA は 32bit PCI と排他使用)			
入 力 装 置	キーボード	109 型キーボード			
	マウス	2 ボタンマウス			

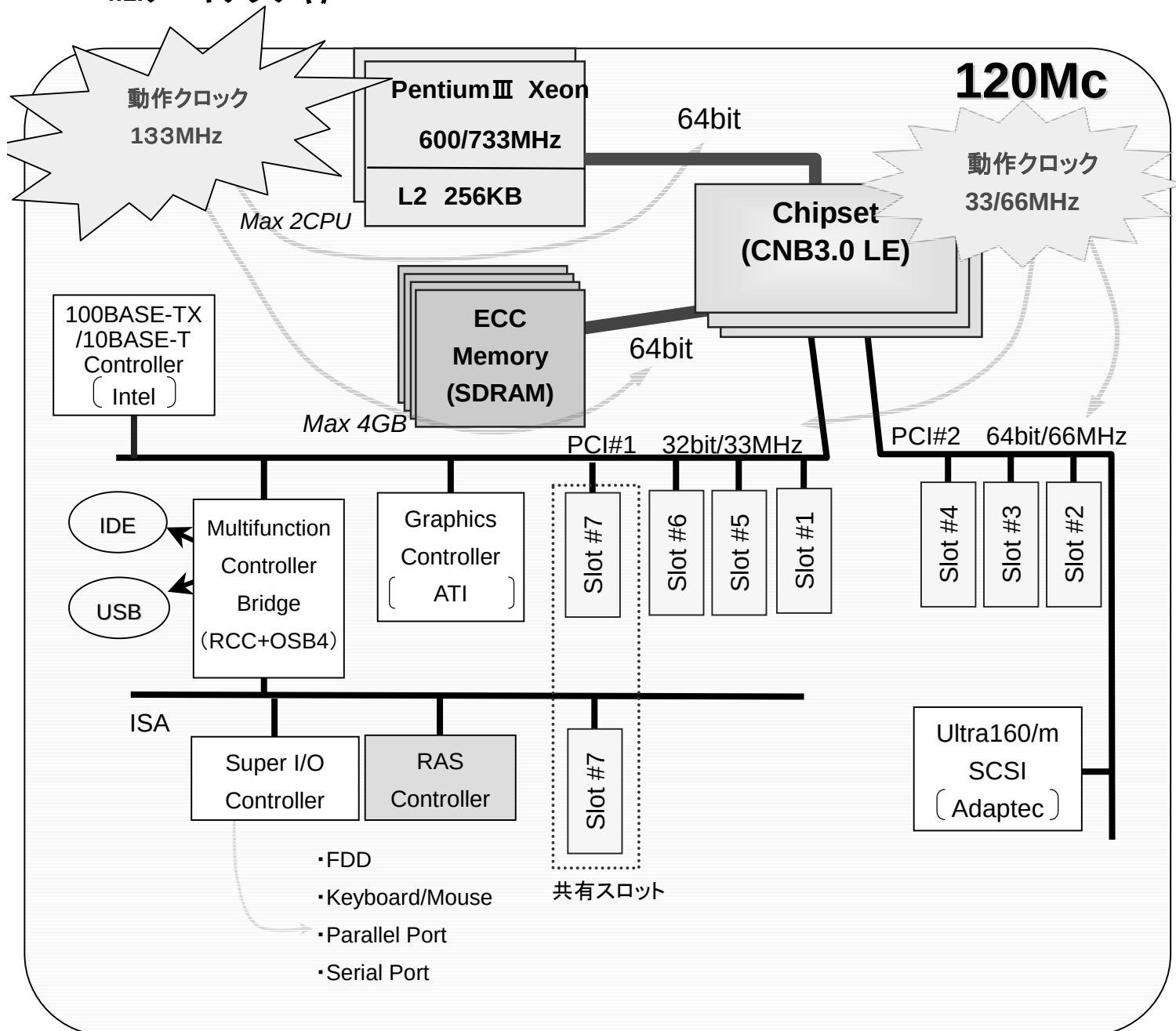
		Express5800/120Mc			
		N8500-436	N8500-437 N8500-438	N8500-509	N8500-443 N8500-488
		ディスクレス モデル	StarOffice バンドルモデル Exchange バンドルモデル	ディスクレス モデル	StarOffice バンドルモデル Exchange バンドルモデル
外 部 イ ン タ フ ェ ー ス	シリアル	D-Sub9 ピン×2			
	パラレル	D-Sub25 ピン×1			
	SCSI	D-Sub ハーフピッチ 68 ピン×1(Ultra SCSI(Wide))			
	ネットワーク	RJ-45×1			
	ディスプレイ	ミニ D-Sub 15 ピン×1			
	キーボード	ミニ DIN 6 ピン			
	マウス	ミニ DIN 6 ピン			
	USB	4 ピン×2			
規格／認定		VCCI Class-A			
セキュリティ		BIOS によるパスワードロック機能、鍵によるフロントドアのロック機能			
障害管理機能		温度監視、Fan アラーム、電圧監視、ウォッチドックタイマ、ECC 機能			
サーバ管理機能		ESMPRO/Server Manager、Server Agent			
筐体デザイン		ミニタワー			
電 源	電源モジュール	340W 電源×1 (最大 2 台、ホットスワップ対応、冗長機能)			
	電圧	AC100V±10%			
	周波数	50/60±1Hz			
最大消費電力		360VA (皮相電力) 350W (有効電力)			
エネルギー 消費効率		128W			
環境条件		10～35℃、20～80% (但し結露しない事)			
重 量	本体	24kg (Windows NT Server 4.0 アレイモデルは 26kg)			
	キーボード	1.2kg			
外 形 寸 法	本体	271(W)×656(D)×450(H)mm			
	キーボード	4128(W)×160(D)×65(H)mm (スタンド含まず)			
サポート OS		Microsoft Windows NT Server 4.0、 Microsoft Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0 Microsoft Windows NT 4.0,Terminal Server Edition, Microsoft BackOffice Small Business Server4.0, Novell NetWare 3.2J/4.2J/5J、			
主な添付品		キーボード、マウス、構成品一覧表、スタートアップガイド、電源ケーブル、ユーザズガイド、 保証書、EXPRESSBUILDER、Microsoft Windows NT Server Network Operating System 4.0 CD-ROM*1 *2、StarOffice CD-ROM*1、 StarOffice ユーザサポート案内*1、Microsoft Exchange Server CD-ROM*2			

*1 StarOffice バンドルモデルのみ

*2 Exchange バンドルモデルのみ

4.詳細仕様

4.1.アーキテクチャ



4.2.CPU

■Intel 社製の最新 CPU を搭載

■N8500-436,-437,-438 は PentiumIII Xeon プロセッサ(600MHz)、
N8500-507.-443.-488 は PentiumIII Xeon プロセッサ(733MHz)を搭載

■セカンドキャッシュは、256KB を標準搭載

■サポートする増設 CPU ボード

型名	製品名	備考
N8501-154	増設 CPU ボード	PentiumIII Xeon プロセッサ(600MHz/256KB)
N8501-170	増設 CPU ボード	PentiumIII Xeon プロセッサ(733MHz/256KB)

）＊周波数の異なる CPU ボードの混在は不可

【PentiumIII Xeon プロセッサ】

） PentiumIII Xeon プロセッサは、大きな負荷に耐えるため、従来の Pentium II プロセッサに比べ、より大容量でより高速なキャッシュを採用している。2 次キャッシュは従来の Pentium II プロセッサと比べ容量が大きくなっただけでなく、プロセッサ・コアと同じスピード(クロック)で動作している。また、P6 マイクロ・アーキテクチャのコアと同じ基本構造で、0.25 ミクロンの製造プロセスを採用している。これにより大容量のデータを扱い、高速処理が必要なシステムに対応できる設計となっている。

また複雑で大規模なシステムに対応するため、プロセッサに温度センサや ECC (Error Checking and Correcting)、FRC (Functional Redundancy Checking)、SMB (System Management Bus)といったすぐれた管理機能を搭載し、マネージャビリティを強化している。

） さらに PentiumIII Xeon プロセッサでは、D.I.B.(Dual Independent Bus Architecture)と呼ばれる 2 つのバスを使用したアーキテクチャを採用している。1 つは 100MHz のマルチ・トランザクション・システム・バスである。これを使い、8 つのコンカレントなバスの動作が実現できる。2 つ目は、2 次キャッシュとコアがバック・サイド・バスで接続することにより、システム・バスと独立して機能する。これらの 2 つのバスを組み合わせ、バスのバンド幅のアベイラビリティを確保することによって、全体的なプラットフォームの性能を、Pentium Pro プロセッサ 200MHz、2 次キャッシュ 256KB 版を搭載したシステムよりも約 80%向上した。

） 従来の Pentium II プロセッサと比べてスケーラビリティも強化され、8Way のシステムも構築できる。これにより、大規模かつ複雑な処理を伴うアプリケーションが利用可能となる。



4.3.メモリ

■ディスクレスモデル・ディスクアレイ共に 128MB(DIMM×1 枚)標準搭載

■メモリの不正コードを検出・修正する ECC(Error Correcting Code)対応

■増設単位は SDRAM DIMM×1 枚

■各機種とも最大 4GB までメモリ拡張可能

■マザーボード上に増設用メモリボード用コネクタを 4 スロット装備

■出荷時および、最大実装時のメモリ実装形態は以下の通り

最大容量までメモリ拡張を行うには、実装済みの標準メモリボードを取り外す必要あり

スロット	#1	#2	#3	#4
出荷時	128MB	-	-	-
最大実装時	1GB	1GB	1GB	1GB

■増設可能なメモリボード(Express5800/120Mc シリーズ共通)

型名	製品名	備考
N8502-95	64MB 増設メモリボード	SDRAM DIMM:1 枚
N8502-96	128MB 増設メモリボード	SDRAM DIMM:1 枚
N8502-97	256MB 増設メモリボード	SDRAM DIMM:1 枚
N8502-98	512MB 増設メモリボード	SDRAM DIMM:1 枚
N8502-105	1GB 増設メモリボード	SDRAM DIMM:1 枚

4.4.グラフィックス

■ATI 社製 Rage II C を使用

■ビデオ RAM 4MB 標準実装

■サポート解像度、表示色は以下の通り

解像度 (ドット)	表示色
640×480	256 色、65536 色、1677 万色
800×600	256 色、65536 色、1677 万色
1024×768	256 色、65536 色、1677 万色

■ディスプレイは下記のオプションから選択可能(必須オプション)

型名	製品名	備考
N8561-17	15 型カラーディスプレイ	解像度 1280×480～1024×668
N8561-09	17 ” カラーディスプレイ	解像度 1280×480～1280×1024
N8561-15	17 型カラーディスプレイ	解像度 1280×480～1280×1024
N8561-10	21 ” カラーディスプレイ	解像度 1280×480～1600×1200
N8561-16	15.1 型液晶ディスプレイ	解像度 1024×668

4.5.ファイル装置

(1)フロッピーディスク装置

■3.5 インチ FDD ドライブ（3 モード:1.44MB/1.2MB/620KB 対応）を 1 ドライブ装備

＊PC-9800 シリーズで利用できる 640KB:FDD は利用不可。

■内蔵 FDD の増設不可

(2)HDD

■N8500-437,-438,-443,-488 は、本体内に 8.6GB HDD(N8550-77(Ultra2/Ultra SCSI)相当)×3 台を標準搭載

＊N8500-436,-507 はディスクレスモデルの為、増設 HDD を別途購入が必要。

■ディスクベイに HDD を追加実装可能（最大 1"ハイト×6 台）

＊ディスクベイに Ultra SCSI(Wide)対応の HDD と Ultra2/Ultra SCSI 対応の HDD は混在不可

■Disk 増設筐体を増設し HDD を追加実装可能

■上記ベイに実装可能な増設用 HDD は以下の通り

型名	製品名	備考
N8550-77	増設用 8.6GB HDD	Ultra2/UltraSCSI /Ultra SCSI(Wide),7200rpm
N8550-65	増設用 8.6GB HDD	Ultra2/UltraSCSI /Ultra SCSI(Wide),10000rpm
N8550-79	増設用 18.1GB HDD	Ultra2/Ultra SCSI /Ultra SCSI(Wide),7200rpm
N8550-81	増設用 18.1GB HDD	Ultra2/Ultra SCSI /Ultra SCSI(Wide),10000rpm

■同一コントローラ(SCSI/ディスクアレイ)配下に 7200rpm の HDD と 10000rpm の HDD は混在不可

■同一コントローラ配下に Ultra SCSI(Wide)対応の HDD と Ultra2/Ultra SCSI 対応の HDD は混在不可

■Disk 増設筐体を増設し HDD を追加実装可能

■ディスクアレイコントローラを使用し、RAID 構成を組むことが可能

■サポートするディスクアレイコントローラ

型名	製品名	備考
N8503-43	ディスクアレイコントローラ	Ultra2 SCSI, 64bit PCI
N8503-44	ディスクアレイコントローラ	Ultra2/Ultra SCSI /Ultra SCSI(Wide),32bit PCI
N8503-49	ディスクアレイコントローラ	Ultra2/Ultra SCSI /Ultra SCSI(Wide),64bit PCI

＊ディスクアレイコントローラは最大 4 枚実装可能。

＊バンドルモデルはディスクアレイコントローラ(N8503-44 相当)を標準搭載。

＊N8503-43,-44,-49 は RAID0,1,5,6 に対応。

■サポート HDD

コントローラ	HDD
オンボード Ultra 160/m SCSI N8503-43 N8503-44 *1 N8503-49	N8550-77 *1 N8550-65 N8550-79 N8550-81

*1 Windows NT Server アレイモデルの標準接続

(3)バックアップ装置

■内蔵 DAT,内蔵 DAT 集合型を実装可能

型名	製品名	備考
N8551-12BC	内蔵 DAT	DDS1/DDS2/DDS3,12GB (非圧縮時)
N8551-13AC	内蔵 DAT 集合型	DDS1/DDS2/DDS3,12GB×6 (非圧縮時) デバイスベイ 2 スロット占有

■内蔵 AIT を実装可能

型名	製品名	備考
N8551-19	内蔵 AIT	AIT-1,25GB (非圧縮時)
N8551-20	内蔵 AIT 集合型	AIT-1,25GB×4 (非圧縮時) デバイスベイ 2 スロット占有

■内蔵 DLT を実装可能

型名	製品名	備考
N8551-14	内蔵 DLT	DLT4000,20GB(非圧縮時) デバイスベイ 2 スロット占有
N8551-17	内蔵 DLT	DLT6000,35GB(非圧縮時) デバイスベイ 2 スロット占有

(4)その他

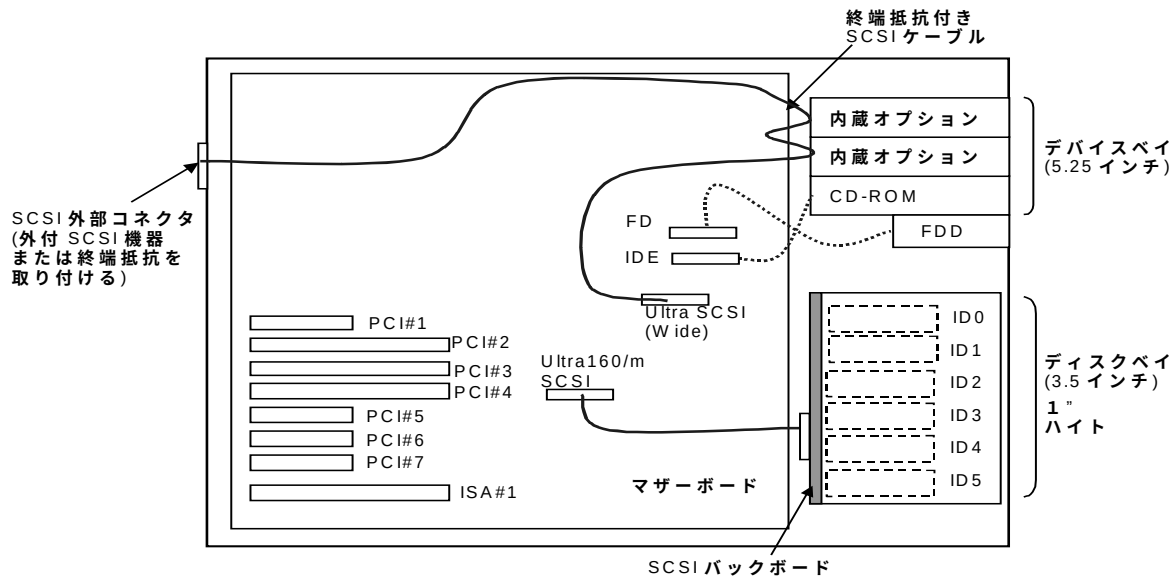
■内蔵 3.5" MO

型名	製品名	備考
N8551-23	内蔵 3.5" MO	640MB

■CD-ROM (最大 32 倍速) を標準実装

●本体内ファイル装置増設イメージ

(1)ディスクレスモデル標準構成



ディスクベイに Ultra2/Ultra SCSI 対応の HDD と Ultra SCSI (Wide)対応の HDD は混在不可。

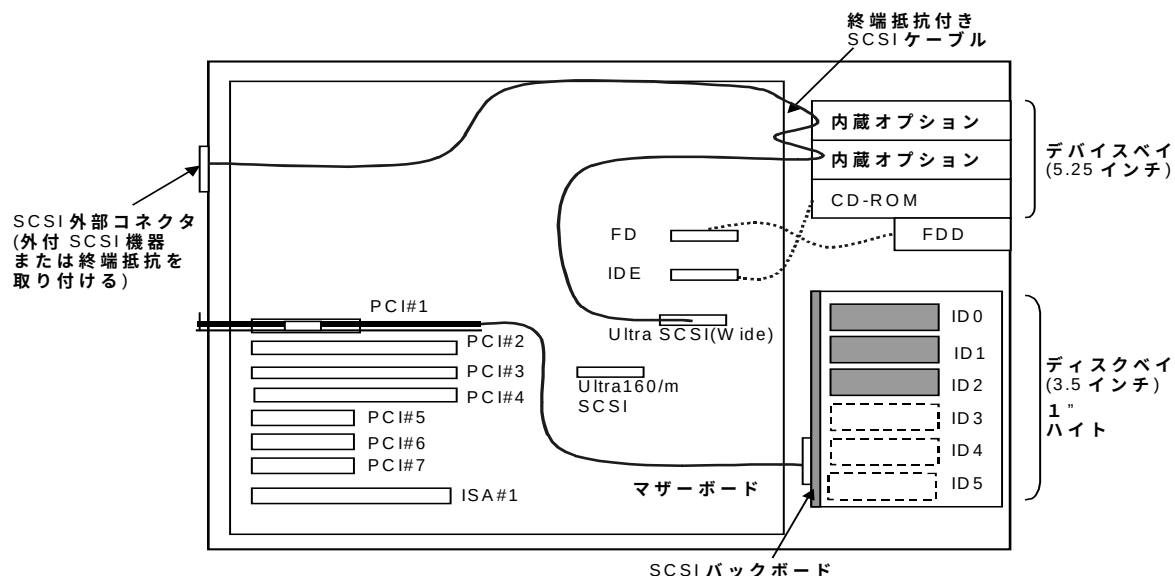
- ＊外部 SCSI 機器を接続しない場合、必ず外部 SCSI コネクタに添付の終端抵抗を取り付けること。
- ＊ハードディスクの終端抵抗の設定は必ず OFF にすること。
- ＊5.25 インチデバイスに接続される SCSI ケーブルのコネクタは 68 ピン(Wide)であり、50 ピンに変換する変換コネクタが標準で装着してある。50 ピンのデバイスを使用する場合は、変換コネクタを装着したまま接続し、68 ピンのデバイスを使用する場合は、変換コネクタを取り外して接続する事。

■デバイスのインタフェース

D-sub ハーフピッチ 68 ピン	D-sub ハーフピッチ 50 ピン
内蔵 DLT (N8551-17) 内蔵 AIT (N8551-19) 内蔵 AIT 集合型 (N8551-20)	内蔵 DLT (N8551-14) 内蔵 DAT (N8551-12BC) 内蔵 DAT 集合型 (N8551-13AC) 内蔵 3.5" MO (N8551-23)

(2)アレイモデル標準構成

Express5800/120Mc の WindowsNT アレイモデルは標準でディスクアレイコントローラ(N8503-44 相当)を搭載しており、本体内のディスクベイにハードディスク 8.6GB HDD(Ultra2/Ultra SCSI)を 3 台搭載済み。最大で 6 台まで実装可能。(増設用 8.6GB HDD を 6 台または 18.1GB を 6 台)



WindowsNT アレイモデル標準のディスクアレイコントローラ(N8503-44)は RAID0,1,5,6)をサポート。
WindowsNT アレイモデルの、出荷設定は RAID5。ハードディスクはホットプラグ可能。

- *外部 SCSI 機器を接続しない場合、必ず外部 SCSI コネクタに添付の終端抵抗を取り付けること。
- *ハードディスクの終端抵抗の設定は必ず OFF にすること。
- *5.25 インチデバイスに接続される SCSI ケーブルのコネクタは 68 ピン(Wide)であり、50 ピンに変換する変換コネクタが標準で装着してある。50 ピンのデバイスを使用する場合は、変換コネクタを装着したまま接続し、68 ピンのデバイスを使用する場合は、変換コネクタを取り外して接続する事。

■デバイスのインタフェース

D-sub ハーフピッチ 68 ピン	D-sub ハーフピッチ 50 ピン
内蔵 DLT (N8551-17) 内蔵 AIT (N8551-19) 内蔵 AIT 集合型 (N851-20)	内蔵 DLT (N8551-14) 内蔵 DAT (N8551-12BC) 内蔵 DAT 集合型 (N8551-13AC) 内蔵 3.5" MO (N8551-23)

●Disk 増設筐体接続イメージ

(1)ディスクアレイコントローラ(N8503-43)使用時

ディスクアレイコントローラ(N8503-43)は、2つの外部チャネルを装備している。

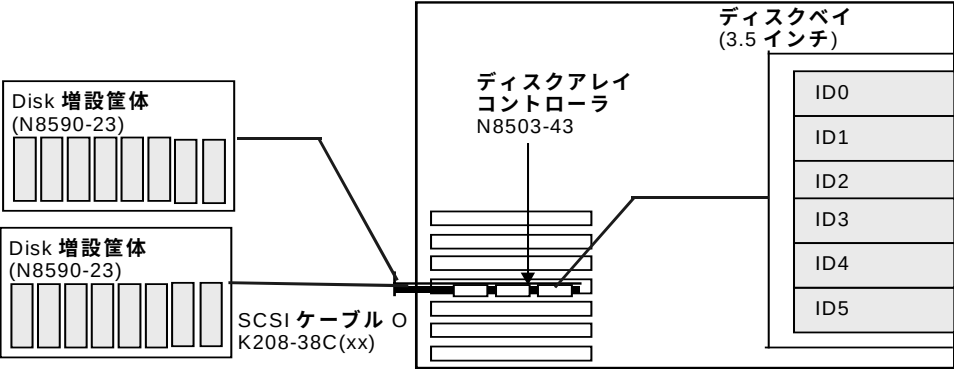
N8503-43 を使用した場合、Disk 増設筐体(N8590-23)を接続可能。

◎ディスクアレイコントローラと Disk 増設筐体の接続関係

型名	製品名	ディスク増設筐体
		N8590-23
N8503-43	ディスクアレイコントローラ	◎

＊◎は Ultra 160/m / Ultra2 SCSI で動作

■N8590-23 接続時



(2)ディスクアレイコントローラ(N8503-44)使用時

ディスクアレイコントローラ(N8503-44)は、1つの外部チャネルを装備している。

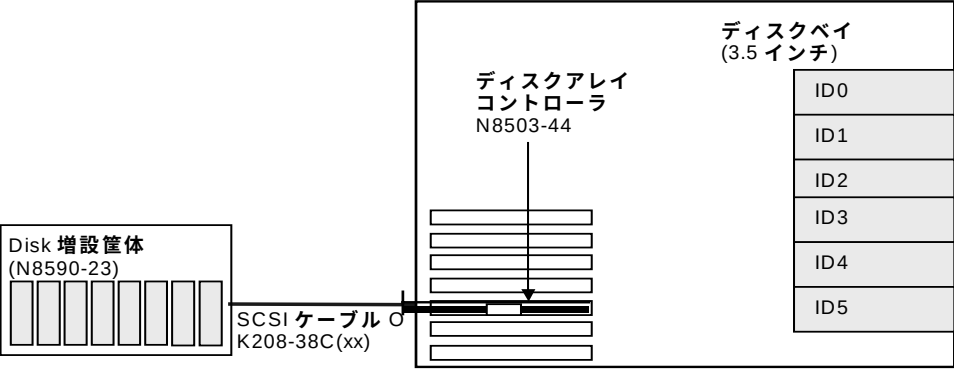
N8503-44 を使用した場合、Disk 増設筐体(N8590-23)を接続可能。

◎ディスクアレイコントローラと Disk 増設筐体の接続関係

型名	製品名	ディスク増設筐体
		N8590-23
N8503-44	ディスクアレイコントローラ	◎

＊○は Ultra SCSI(Wide)で動作、◎は Ultra 160/m / Ultra2/Ultra SCSI で動作

■N8590-23 接続時



(3)ディスクアレイコントローラ(N8503-49)使用時

ディスクアレイコントローラ(N8503-49)は、2つの外部チャネルを装備している。

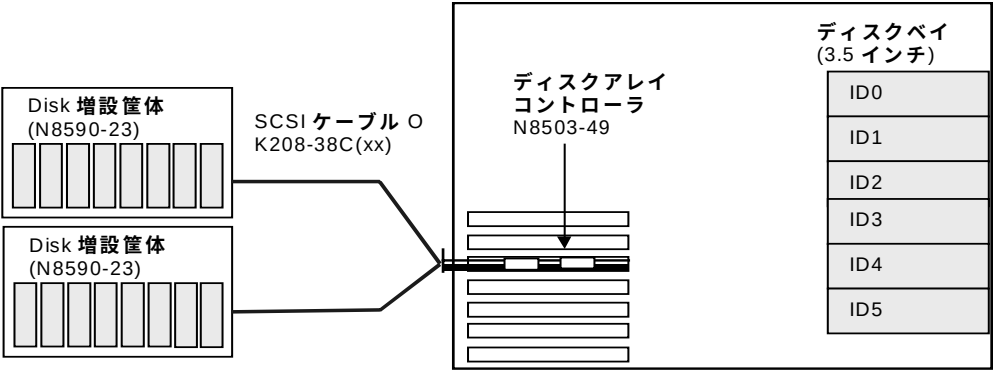
N8503-49 を使用した場合、Disk 増設筐体(N8590-23)を接続可能。

◎ディスクアレイコントローラと Disk 増設筐体の接続関係

型名	製品名	ディスク増設筐体
		N8590-23
N8503-49	ディスクアレイコントローラ	◎

＊○は Ultra SCSI(Wide)で動作、◎は Ultra2/Ultra SCSI で動作

■N8590-23 接続時

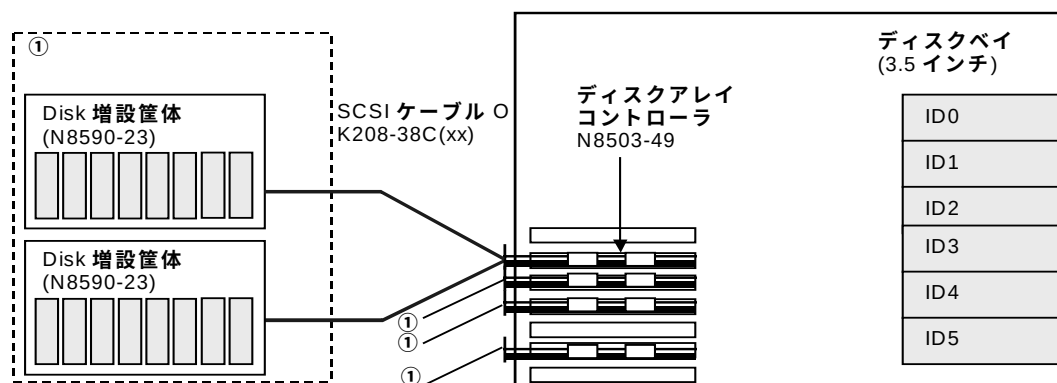


(4)内蔵 HDD（SCSI 接続）とディスクアレイコントローラを混在した最大構成

HDD の構成を最大にする場合、本体デバイスベイに実装される HDD はマザーボード上の Ultra160/m SCSI に接続し Disk 増設筐体はディスクアレイコントローラ(N8503-49)経由で接続する。

ディスクアレイコントローラ(N8503-49)は 2 つの外部チャンネルを装備しているので、1 ボードにつき Disk 増設筐体(N8590-23)を 2 台接続することができる。これにより、システムとして本体内部ディスクベイ(HDD×6 台)+Disk 増設筐体(HDD×8 台)×8 台で、合計 70 台の HDD を搭載可能。

(アレイコントローラは最大搭載数 4 枚。)

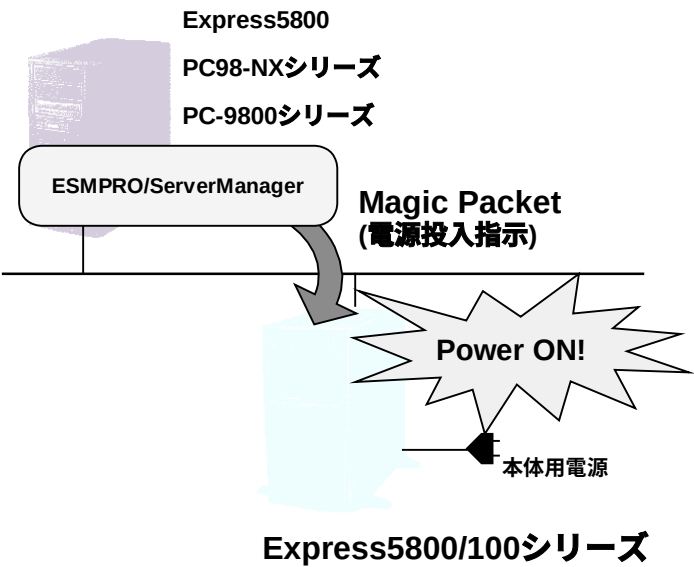


4.6.ネットワーク

■標準で 100BASE-TX もしくは 10BASE-T ×1(オンボード)実装

■Remote Wake Up 機能

ネットワーク(LAN)に接続された他コンピュータ(Express5800/100 シリーズ、PC98-NX シリーズ、PC9800 シリーズ等)から送出された Magic Packet(電源投入指示)を検出しサーバ本体の電源投入を指示する機能。



*UPS のスケジュール機能を使用する場合、Remote Wake Up 機能は使用できない。

*電源ケーブルを商用電源から外すと Remote Wake Up 機能のコンフィグレーション情報が消去されるので、移設の際に注意。(再コンフィグレーションが必要)

■サポートする LAN ボード

型名	製品名	備考
N8504-75	100BASE-TX 接続ボード	PCI,AFT/ALB 対応(NT4.0 のみ)
N8504-39A	1000BASE-SX 接続ボード	PCI
N8504-05	B4680 接続ボード(5/2)	PCI
N8504-06	B4680 接続ボード(5/T)	PCI
N8504-25B	B4680 接続ボード(T)	PCI

)) *N8504-39A は最大で 1 枚まで実装可能。

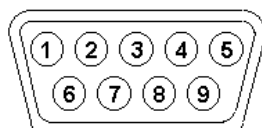
4.6.インターフェース

(1) シリアルインターフェース

■RS2133C に準拠したインターフェースを 2 ポート搭載

■コネクタ形状は 2 ポートとも D-sub9 ピン

モデムなど購入の際、該当するケーブルが添付されているか確認し、無い場合は別途ケーブルを手配する必要がある。



D-sub9 ピン (オス)

■ピンアサイン

番号	信号名	備考
1	DCD	Data Carrier Detected
2	RXD	Receive Data
3	TXD	Transmit Data
4	DTR	Data Terminal Ready
5	GND	Ground
6	DSR	Data Set Ready
6	RTS	Return to Send
8	CTS	Clear to Send
9	RIA	Ring Indication Active

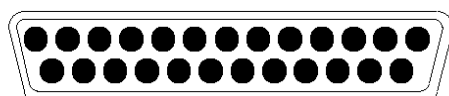
■転送レートは 9600/19.2K/38.4K/115.2Kbps

(2) パラレルインターフェース

■セントロニクスに準拠したインターフェースを 1 ポート搭載

■コネクタ形状は D-sub25 ピン

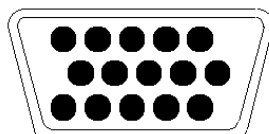
■EPP/ECP に対応



D-sub25 ピン (メス)

(3) ディスプレイインターフェース

■コネクタ形状は、ミニ D-sub15 ピン

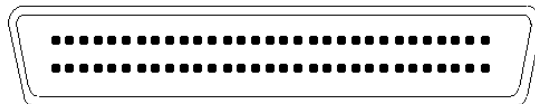


ミニ D-sub15 ピン (メス)

(4) 外部 SCSI インタフェース

■コネクタ形状は D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)

■転送レートは接続する機器により、最大 20MB/s (Fast SCSI (Wide)) となる



D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)

4.8.搭載可能スロット

搭載可能スロット))

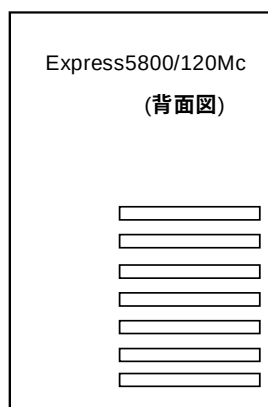
○搭載可能 ●標準搭載済み

Express5800/120Mc

型名	製品名	スロット								備考
		PCI#1	PCI#2	PCI#3	PCI#4	PCI#5	PCI#6	PCI#7	ISA#1	
N8503-31A	SCSIコントローラ	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8503-42	SCSIコントローラ	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8503-43	ディスクアレイコントローラ	—	○	○	○	—	○	○	—	最大4台搭載可能
N8503-44	ディスクアレイコントローラ	●※1	—	—	—	○	○	○	—	
N8503-49	ディスクアレイコントローラ	—	○	○	○	—	○	○	—	
N8503-32A	Fibre Channelコントローラ	—	○	○	○	○	○	○	—	最大2台搭載可能
N8504-39A	1000BASE-SX接続ボード	○	○	○	○	○	○	○	—	最大1台搭載可能
N8504-75	100BASE-TX接続ボード	○	○	○	○	○	○	○	—	最大4台搭載可能
N8504-14A	ATMボード	○	—	—	—	○	○	○	—	何れかのボードを最大1台搭載可能
N8504-19A	ATMボード(155M UTP)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-20A	ATMボード(155M SMF)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-21	ATMボード(25M UTP)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-32	FDDIボード(MMF)(DAS)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-33	FDDIボード(MMF)(SAS)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-34	FDDIボード(UTP)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-23	V.24高速多回線ボード	—	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-24	X.21高速多回線ボード	—	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-55	高速回線ボード	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-56	ISDN高速回線ボード	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-35	モデムボード	—	—	—	—	—	—	—	○	ISA
N8504-05	B4680接続ボード(5/2)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-06	B4680接続ボード(5/T)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8504-25B	B4680接続ボード(T)	○	—	—	—	○	○	○	—	
N8505-27	暗号ボード))	○	—	—	—	—	○	○	—	
N8505-37	グラフィックスアクセラレータ	○	—	—	—	○	○	○	—	

※1) ●はディスクアレイモデルのみ

●スロット番号



PCI#1
PCI#2
PCI#3
PCI#4
PCI#5
PCI#6
PCI#7/ISA#1